

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和4年12月2日（金曜日）10時00分～11時00

場所：しおさい会議室

出席者：7人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 主任 リーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所2名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 11名 ・ 要介護4 6名
要介護3 3名
- ③ 男女比率 男性3名 ・ 女性17名
- ④ 年齢 63歳～98歳 平均89.6歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 20名
- ② 胃瘻 0名
- ③ 排せつ全介助 20名
- ④ チェアインバス：ストレッチャー入浴 14名：6名
- ⑤ 肺炎入院 0名
- ⑥ 褥瘡 1名（病院で形成 徐々に改善）
- ⑦ 重度拘縮 1名
- ⑧ 苦情相談 0件
- ⑨ 身体拘束 0

⑩ 受診以上の介護事故 0 件

1、施設長挨拶

インフルエンザ、コロナと同時流行している。しおさいも例外ではないので気を引き締めていく。他事業所ではコロナがでており、感染者が出た際は fax が入り情報共有している。人の交流が増えればコロナも増えるので皆さんも気をつけていただければと思う。今のところは特養新館での発症はない。

2、新型コロナウイルス感染症対応状況

		しおさいの状況
利用者罹患		なし
職員 罹患	本人	なし
	家族	なし
面会		直接面会・窓越し面会 ・地域、状態に関わらず面会直前に抗原検査陰性なら直接面会可。 ・家族用オンライン面会予約サイト設置（大好評）。 大半の家族はオンライン予約利用 家族以外の面会が電話予約の中心
外出希望		現在なし
備品		医療用簡易抗原検査キットの備蓄 特養 約 50 回分 島根県より検査キット配布の案内あり申込中。職員が週 3 回できる本数はある。(4700 個程度あり) ※使用期限があるので有効に活用したい。
検査協力		なし
家族等通知		L I N E 公式アプリの活用。利用者 18 名分の家族が登録、利用中。 おたよりで案内しており登録が増えている。

3、ユニット活動状況

・10月、11月は県外から子供や孫が帰省して窓越し面会されるケースが大変多かった。ひ孫だけでも中に入れて抱っこしてほしいと要望があったがコロナ渦ということでお断りさせてもらった。家族の写真を大きく引き伸ばし、見えるところに飾っている。居室で過ごすことが多い方なので刺激になっていると感じる。

・10月に新館でご逝去された方の家族よりご寄付を賜り、椅子を3脚購入させてもらった。今後も利用者、家族が快適で満足のいくサービスを提供できるように職員一同頑張っていきたい。

・毎年さつまいもを植えているが今年は不出来だった。上手くできなかったが一緒に植えたり、世話する中で今までの生活や昔話を聞くことができ利用者のことをより深く知れたと感じる。

・11月末にクリスマスツリーを出して利用者と一緒に飾り付けを行った。細かい作業もあるので、そういった作業ができる方には手先の運動になった様子。そのような作業が難しい方は「きれいね」と見て季節を感じておられた様子。「今年も家には帰られないけど、よろしくね」と職員に声をかけておられる利用者もいた。

4、サービス提供の状況

(地域住民代表)面会室はどのような感じか。

→(施設長)家族は外から入り、利用者は室内から面会室に入れるようになっている。室内は間仕切りをして少し狭いが、マイクや冷暖房を完備している。陰圧装置は設置していない。触れ合うことはできないが、対面での面会ができる。
12月10日完成予定。

(地域住民代表)面会はどれくらいくるのか

→(ユニットリーダー)一日4件程度。コロナで面会は増えた。

(市役所職員)

年末は人の行き来が増えるためインフルエンザ、コロナが流行する。大田市はワクチン接種率80%台。5回目の接種の案内を送っているので検討してほしい。
気になる点はホームページを確認してほしい。

5、その他

これからの施設に臨むことについてアンケート記入をお願いしたい。サービスの改善や向上につなげていきたい。12月31日締め切り。

次回予定 令和5年2月3日（金曜日）10時～11時